

令和4年度

令和4年6月7日



遷喬小だより

6月号

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

5年生 一致団結！野外活動～新しい道へ～

5年生には、野外活動に行くことができることに感謝しつつ、3つのステージをクリアすることを準備の段階や出発式で伝えました。

第1ステージは、準備・練習をしっかりと行うこと、第2ステージは、国立吉備青少年自然の家にて、「自律・友愛・協同・奉仕」を目標に、5年生が一致団結してやりきること、第3ステージは、野外活動を終えた後、この経験を生かすことです。

第1ステージを見事クリアした5年生は、いざ本番の第2ステージへ。

鳴滝湖で力を合わせてカッターこぎ。夕暮れのキャンプファイヤー。趣向をこらしたスタンプ。ファイヤーの炎に負けない5年団の熱い思いを全員で具現化できました。野外炊事では調理を分担しておいしいカレーを仕上げました。後片付けは、自然の家の職員のチェックが厳しいのですが、皆で力を合わせて働き、どの班も合格することができました。オリエンテーリングも楽しいひとときとなりました。

第2ステージも大成功！準備・練習してきたことを十分に発揮し、「自律・友愛・協同・奉仕」を5年生みんなで実践できたことを自信にしてほしいと思います。

いよいよ第3ステージです。この経験を生かして遷喬小学校の次期リーダーとして「新しい道へ」、さらなる活躍を期待します。



良質な集団形成に向けて～縦割り班活動～

今年度も縦割り班活動が始まっています。

6年生は、最高学年として、事前にオリエンテーションを行い、自分たちの役割をしっかりと確認しました。その後、顔合わせの会、はじめての縦割り掃除の打ち合わせの会などスモールステップで進めていきました。

毎年のことですが、縦割り班で集まった空気感が心地よいのです。

とても温かく和やかな雰囲気が流れています。

高学年がお手本を示して、低学年も素直に教わっています。

遷喬小学校において縦割り班の好循環がうまれていると感じます。日々の縦割り掃除だけでなく、遷喬スマイル祭り、6年生を送る会等を通して、子どもたちの中でよき伝統が受け継がれてきています。

縦割り班の意義は、次のようなことではないでしょうか。



縦割り掃除の打ち合わせをする6年生

□高学年にとって 誰かのために役に立つ 働く 貢献
主体性の発揮 思いやり・やさしさの発揮
達成感 自信 頼りにされる 自己有用感
プライド（誇り） But 謙虚さを忘れない

□低学年にとって ありがたいの気持ち 感謝 安心感
教わる 素直 集団の楽しさ
あこがれの上級生 尊敬
自分もいつかは素敵な上級生になりたい

人と人との関わる力が求められている今だからこそ、意図的に「異学年が交流する場」をつくっていきたいと思います。

アクションプラン学校訪問 5月27日

アクションプランとは、学校運営のビジョンや重点目標を定め、具体的な取組や検証方法についてまとめたものです。本校でも学校経営計画と連動したアクションプランに基づき、「いのちの輝き 知徳体の調和」を指導の重点におき、実践を積み重ねているところです。

津山教育事務所の河野アドバイザー、川村指導主事、真庭市教育委員会秋元課長等をお迎えして、授業の様子を見ていただきました。

授業参観後には『『聴き合う』『表現し合う』姿、つまり『学び合う』姿のイメージを教職員間、教師児童間で共有して取り組んでいることが、児童の姿に表れていますね。』と評価していただきました。生活科・総合の取組により、生活面においても主体的に動く児童が増えてきていると実感していますので、引き続き、児童の自治能力の育成を重点に置いて、児童の活躍の場を作っていきたいと思います。